



2021年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月14日

上場会社名 不二精機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6400 URL <https://www.fujiseiki.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊井 剛
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 山本 幸司 TEL 06-7166-6822
 定時株主総会開催予定日 2022年3月30日 配当支払開始予定日 2022年3月31日
 有価証券報告書提出予定日 2022年3月31日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期の連結業績 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期	7,467	26.3	605	113.9	615	333.1	505	409.6
2020年12月期	5,912	△10.3	283	△26.9	142	△58.5	99	△65.8

(注) 包括利益 2021年12月期 729百万円 (944.7%) 2020年12月期 69百万円 (△71.8%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年12月期	63.54	63.15	26.2	7.9	8.1
2020年12月期	12.57	12.45	6.1	2.0	4.8

(参考) 持分法投資損益 2021年12月期 ー百万円 2020年12月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期	8,178	2,195	26.8	275.51
2020年12月期	7,449	1,679	22.3	208.71

(参考) 自己資本 2021年12月期 2,195百万円 2020年12月期 1,659百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年12月期	886	△422	△375	899
2020年12月期	688	△784	255	758

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年12月期	ー	0.00	ー	5.00	5.00	39	39.8	2.4
2021年12月期	ー	0.00	ー	10.00	10.00	79	15.7	4.1
2022年12月期 (予想)	ー	0.00	ー	7.00	7.00		18.6	

3. 2022年12月期の連結業績予想 (2022年1月1日～2022年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	4,007	5.8	218	△42.0	193	△51.5	154	△58.0	19.33
通期	7,909	5.9	427	△29.5	375	△39.1	300	△40.7	37.64

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2021年12月期	9,054,000株	2020年12月期	9,054,000株
2021年12月期	1,085,109株	2020年12月期	1,104,009株
2021年12月期	7,955,668株	2020年12月期	7,892,114株

(参考) 個別業績の概要

2021年12月期の個別業績（2021年1月1日～2021年12月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期	2,917	8.2	185	67.7	174	117.6	130	211.3
2020年12月期	2,696	△19.6	110	△42.0	80	△54.6	41	△75.2

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期	16.41	16.30
2020年12月期	5.31	5.26

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期	5,214	1,628	31.2	204.30
2020年12月期	5,150	1,509	29.3	189.81

(参考) 自己資本 2021年12月期 1,628百万円 2020年12月期 1,508百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる場合があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況 (1) 当期の経営成績の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(追加情報)	12
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17
4. その他	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、依然として世界的な拡大を見せる新型コロナウイルス感染症の影響により、それまでの雇用情勢や所得環境の改善による景気の緩やかな回復基調は一変し、米国、中国の対立の影響も懸念されるなど海外経済の不確実性が高まり、先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

このような環境の中、当社グループは、中期スローガンとして「安心をお届けする不二精機グループ」を掲げ、品質管理体制の徹底強化によるグループ一体となった顧客満足への更なる追求を図り、精密金型のコア技術をもとに自動車及び二輪車などの成形事業分野への積極的な展開を行い、顧客への高付加価値製品の提供による安定受注の拡大に努めてまいりました。

また、「『考動』で価値を創る」をグループ全社員の行動理念とし、「お客様の利益の最大化」を目標に、新たな価値創造、また「5S活動」を基本とする着実な品質改善活動に取り組んでおります。

この結果、当連結会計年度の売上高は、射出成形用精密金型及び成形システム事業、精密成形品その他事業の両事業の売上高が増加し、前連結会計年度比15億54百万円（同26.3%）増加の74億67百万円となりました。

損益につきましては、射出成形用精密金型及び成形システム事業、精密成形品その他事業の両事業の売上高が増加したことなどにより、営業利益は、前連結会計年度比3億22百万円（同113.9%）増加の6億5百万円となりました。主としてインドネシアの子会社での親会社（当社）からの円建て債務の評価替えて、前連結会計年度には急激な円高・インドネシアルピア安によって為替差損90百万円を計上しましたが、当連結会計年度には為替差益61百万円を計上するなど営業外損益が1億51百万円改善したことなどにより、経常利益は前連結会計年度比4億73百万円（同333.1%）増加の6億15百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前連結会計年度比4億6百万円（同409.6%）増加の5億5百万円となりました。

当連結会計年度のセグメントの業績については、以下のとおりであります。

<射出成形用精密金型及び成形システム事業>

当事業の売上高の約7割を占める医療機器用精密金型において、新型コロナウイルス感染症の影響で前連結会計年度において生じた顧客との間の検収手続きの遅れは当連結会計年度に検収手続きが進み、当セグメントの売上高は前連結会計年度比4億49百万円（同18.0%）増加の29億43百万円となりましたが、受注した案件の利益率の低下によりセグメント利益は前連結会計年度比7百万円（同2.7%）減少の2億59百万円となりました。

なお、個別受注生産である当事業の未検収の受注残高は安定的に推移しており、各工場の稼働率は高い状態であります。

<精密成形品その他事業>

主力製品である自動車部品用成形品は東南アジア市場を中心に中期的な受注をいただき、タイ及びインドネシアの子会社で、新型コロナウイルス感染症の影響による減産から回復し、当セグメントの売上高は前連結会計年度比10億43百万円（同29.1%）増加の46億29百万円となりました。その結果、セグメント利益は前連結会計年度比3億5百万円（同1,333.8%）増加の3億28百万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

総資産は、前連結会計年度末に比べ7億29百万円（9.8%）増加し、81億78百万円となりました。

流動資産は、主に現金及び預金が1億34百万円、受取手形及び売掛金が1億75百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ5億37百万円（15.4%）増加し、40億37百万円となりました。

固定資産は、主に有形固定資産が1億33百万円、投資その他の資産が52百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ1億91百万円（4.9%）増加し、41億40百万円となりました。

負債は、前連結会計年度末に比べ2億12百万円（3.7%）増加し、59億82百万円となりました。

流動負債は、主に支払手形及び買掛金が3億78百万円、短期借入金が8億77百万円増加し、一方、前受金が2億41百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ11億74百万円（32.1%）増加し、48億33百万円となりました。

固定負債は、主に長期借入金が9億円、リース債務が97百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ9億61百万円（45.6%）減少し、11億49百万円となりました。

純資産は、主に利益剰余金が4億65百万円、為替換算調整勘定が1億60百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ5億16百万円（30.8%）増加し、21億95百万円となりました。なお、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ4.5ポイント増加し、26.8%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は前連結会計年度に比べ1億40百万円増加し、8億99百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、獲得した資金は、8億86百万円（前連結会計年度は6億88百万円の獲得）となりましたが、これは主として、税金等調整前当期純利益6億92百万円、減価償却費5億39百万円、仕入債務の増加2億96百万円があった一方、たな卸資産の増加1億円、前受金の減少2億86百万円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は、4億22百万円（前連結会計年度は7億84百万円の使用）となりましたが、これは主として、有形固定資産の取得による支出4億98百万円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、支出した資金は、3億75百万円（前連結会計年度は2億55百万円の収入）となりましたが、これは主として、長期借入れによる収入4億5百万円があった一方、長期借入金の返済による支出4億37百万円、連結範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出1億76百万円、リース債務の返済による支出1億41百万円があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

翌期につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大によるわが国経済への影響や、米中貿易摩擦などの世界経済へ与える影響が不透明な中、当社グループ全体で引き続き各事業のさらなる選択と集中を地道に進めてまいります。

射出成形用精密金型及び成形システム事業では、日本市場で医療関連製品・食品容器関連製品、中国市場で医療関連製品に集中した営業活動とグループ内で連携した内製化の推進などの生産性向上によるコストダウンを図るとともに、研究開発投資を計画的に進め、より付加価値の高い製品を提供することにより競争力の強化を目指してまいります。

精密成形品その他事業では、東南アジア市場での自動車関連製品の受注拡大に伴い、THAI FUJI SEIKI CO., LTD及びPT. FUJI SEIKI INDONESIAで品質管理体制の整備を重点的に進め、増産投資による更なる業容拡大と自動化・半自動化投資による生産性の向上を目指してまいります。また、急速に進むことが予想される自動車のEV化に対応するべく、鈴鹿新工場を拠点とし、設備投資及び研究開発投資を重点的に進めてまいります。

2022年12月期の連結業績見通しといたしましては、売上高79億9百万円、営業利益4億27百万円、経常利益3億75百万円、親会社株主に帰属する当期純利益3億円を見込んでおります。

なお、上記の連結業績見通しは、新型コロナウイルス感染症拡大による影響が2023年に向け収束に向かうと仮定しております。引き続き、今後の業績への影響を注視し、必要な場合は適時に開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際会計基準に基づく連結財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。なお、当該基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当連結会計年度 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	764,346	899,107
受取手形及び売掛金	1,025,706	1,200,877
電子記録債権	188,754	203,184
製品	805,099	845,071
仕掛品	432,199	494,042
原材料及び貯蔵品	111,362	172,770
未収入金	44,350	56,280
その他	131,477	170,059
貸倒引当金	△2,947	△3,623
流動資産合計	3,500,348	4,037,769
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	686,330	684,724
機械装置及び運搬具(純額)	783,707	865,310
工具、器具及び備品(純額)	511,971	496,496
土地	734,781	734,781
リース資産(純額)	495,285	407,958
建設仮勘定	282,495	438,478
有形固定資産合計	3,494,571	3,627,750
無形固定資産		
のれん	34,884	31,008
その他	63,931	73,890
無形固定資産合計	98,816	104,899
投資その他の資産		
投資有価証券	146,776	183,692
長期貸付金	6,183	5,733
繰延税金資産	32,478	58,346
その他	181,175	171,038
貸倒引当金	△11,138	△10,865
投資その他の資産合計	355,473	407,944
固定資産合計	3,948,861	4,140,594
資産合計	7,449,210	8,178,363

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当連結会計年度 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	581,387	959,843
電子記録債務	154,785	160,715
短期借入金	1,684,239	2,561,315
リース債務	141,012	129,113
未払金	193,896	217,345
未払法人税等	10,674	102,439
前受金	702,016	460,964
賞与引当金	67,382	72,866
製品保証引当金	19,274	32,836
その他	104,074	135,979
流動負債合計	3,658,743	4,833,420
固定負債		
長期借入金	1,737,148	836,419
リース債務	281,242	183,772
繰延税金負債	21,605	48,777
退職給付に係る負債	35,772	46,315
役員退職慰労引当金	14,539	14,539
資産除去債務	19,151	18,921
長期前受収益	1,764	569
固定負債合計	2,111,223	1,149,315
負債合計	5,769,967	5,982,735
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	858,706	738,793
利益剰余金	368,448	834,214
自己株式	△273,230	△268,352
株主資本合計	1,453,924	1,804,656
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,171	24,139
為替換算調整勘定	206,500	366,718
その他の包括利益累計額合計	205,329	390,858
新株予約権	158	113
非支配株主持分	19,830	—
純資産合計	1,679,243	2,195,627
負債純資産合計	7,449,210	8,178,363

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
売上高	5,912,744	7,467,677
売上原価	4,658,383	5,725,566
売上総利益	1,254,361	1,742,111
販売費及び一般管理費	971,253	1,136,605
営業利益	283,107	605,506
営業外収益		
受取利息	1,308	2,852
受取配当金	346	618
為替差益	—	61,282
補助金収入	11,180	4,309
その他	8,092	5,836
営業外収益合計	20,927	74,899
営業外費用		
支払利息	50,657	51,621
為替差損	90,443	—
コミットメントライン手数料	—	3,000
その他	20,792	10,190
営業外費用合計	161,893	64,811
経常利益	142,141	615,594
特別利益		
固定資産売却益	593	79,934
特別利益合計	593	79,934
特別損失		
固定資産売却損	3,589	2,057
固定資産除却損	1,331	615
特別損失合計	4,921	2,672
税金等調整前当期純利益	137,812	692,856
法人税、住民税及び事業税	43,283	160,733
法人税等調整額	4,026	△9,778
法人税等合計	47,310	150,955
当期純利益	90,502	541,901
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	△8,693	36,385
親会社株主に帰属する当期純利益	99,195	505,515

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
当期純利益	90,502	541,901
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,729	25,311
為替換算調整勘定	△15,903	162,733
その他の包括利益合計	△20,632	188,044
包括利益	69,869	729,945
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	77,273	691,045
非支配株主に係る包括利益	△7,404	38,900

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2020年1月1日至2020年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	500,000	864,977	308,685	△289,351	1,384,312
当期変動額					
剰余金の配当			△39,432		△39,432
親会社株主に帰属する当期純利益			99,195		99,195
自己株式の処分		△6,271		16,120	9,849
連結子会社株式の取得による持分の増減					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△6,271	59,763	16,120	69,612
当期末残高	500,000	858,706	368,448	△273,230	1,453,924

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	3,557	223,693	227,251	308	27,235	1,639,106
当期変動額						
剰余金の配当						△39,432
親会社株主に帰属する当期純利益						99,195
自己株式の処分						9,849
連結子会社株式の取得による持分の増減						—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△4,729	△17,192	△21,921	△149	△7,404	△29,476
当期変動額合計	△4,729	△17,192	△21,921	△149	△7,404	40,136
当期末残高	△1,171	206,500	205,329	158	19,830	1,679,243

当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	500,000	858,706	368,448	△273,230	1,453,924
当期変動額					
剰余金の配当			△39,749		△39,749
親会社株主に帰属する当期純利益			505,515		505,515
自己株式の処分		△1,897		4,878	2,980
連結子会社株式の取得による持分の増減		△118,015			△118,015
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△119,912	465,765	4,878	350,731
当期末残高	500,000	738,793	834,214	△268,352	1,804,656

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△1,171	206,500	205,329	158	19,830	1,679,243
当期変動額						
剰余金の配当						△39,749
親会社株主に帰属する当期純利益						505,515
自己株式の処分						2,980
連結子会社株式の取得による持分の増減						△118,015
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	25,311	160,217	185,529	△45	△19,830	165,653
当期変動額合計	25,311	160,217	185,529	△45	△19,830	516,384
当期末残高	24,139	366,718	390,858	113	—	2,195,627

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	137,812	692,856
減価償却費	489,347	539,086
のれん償却額	3,876	3,876
株式報酬費用	8,793	9,372
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,234	402
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△20,913	586
受取利息及び受取配当金	△1,654	△3,470
支払利息	50,657	51,621
為替差損益 (△は益)	75,590	△54,187
固定資産除却損	1,331	615
固定資産売却損益 (△は益)	2,996	△77,877
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	7,694	10,064
売上債権の増減額 (△は増加)	△16,503	△78,535
未収入金の増減額 (△は増加)	2,133	△11,272
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△107,916	△100,104
仕入債務の増減額 (△は減少)	△185,645	296,636
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△37,875	54,678
前受金の増減額 (△は減少)	390,171	△286,036
前渡金の増減額 (△は増加)	15,395	△76,230
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△7,842	13,562
その他	△7,799	19,266
小計	798,415	1,004,908
利息及び配当金の受取額	1,460	3,294
利息の支払額	△50,927	△51,948
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△60,286	△69,980
営業活動によるキャッシュ・フロー	688,662	886,274
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,800	△800
定期預金の払戻による収入	6,000	5,600
有形固定資産の取得による支出	△727,664	△498,318
有形固定資産の売却による収入	2,957	89,314
無形固定資産の取得による支出	△3,159	△14,266
投資有価証券の取得による支出	△61,357	△1,400
長期貸付金の回収による収入	600	450
その他	284	△3,548
投資活動によるキャッシュ・フロー	△784,140	△422,969

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	320,020	10,694
長期借入れによる収入	360,000	405,000
長期借入金の返済による支出	△394,825	△437,367
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△176,746
セール・アンド・リースバックによる収入	138,263	—
リース債務の返済による支出	△137,577	△141,362
ストックオプションの行使による収入	9,699	2,935
配当金の支払額	△35,037	△35,235
その他	△4,881	△3,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	255,662	△375,082
現金及び現金同等物に係る換算差額	△22,612	51,939
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	137,572	140,161
現金及び現金同等物の期首残高	621,373	758,946
現金及び現金同等物の期末残高	758,946	899,107

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症拡大により、わが国を含む世界各国の経済環境に多大な影響が生じております。今後の広がり又は収束を予測することは困難であり、今後も当社グループの業績に影響が及ぶことが想定されます。

当社グループでは、第2四半期連結累計期間の決算短信の追加情報において、2022年に向けて感染拡大が収束するとともに経済活動が徐々に感染拡大前の状況に戻ると仮定しておりましたが、現状を踏まえ、今後ワクチン接種が進み、2023年に向け感染拡大が収束するとともに、経済活動が徐々に感染拡大前の状況に戻るとの仮定に変更しております。その結果、当該仮定を繰延税金資産の回収可能性の判断などの会計上の見積りを行っておりますが、仮定の変更による連結財務諸表への重要な影響はございません。

なお、新型コロナウイルス感染症の収束時期は不透明であり、影響が長期化する不確実性を伴うため、実際の結果はこれらの仮定と異なる場合があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、射出成形用精密金型及び精密成形品等の製造・販売に関連した事業活動を行う6社から構成されており、「射出成形用精密金型及び成形システム事業」及び「精密成形品その他事業」の2つを報告セグメントとしております。

「射出成形用精密金型及び成形システム事業」は、射出成形用精密金型の製造販売並びに当該金型と射出成形機等の成形周辺装置を組み合わせたシステムの製造販売をしております。

「精密成形品その他事業」は、精密成形品その他の製造販売をしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」の記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益の数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2020年1月1日 至 2020年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	射出成形用精密金型 及び 成形システム事業	精密成形品 その他事業	
売上高			
外部顧客への売上高	2,326,557	3,586,187	5,912,744
セグメント間の内部売上高又は振替高	167,116	—	167,116
計	2,493,674	3,586,187	6,079,861
セグメント利益	266,858	22,878	289,737
セグメント資産	2,797,260	4,100,799	6,898,060
その他の項目			
減価償却費	89,370	385,531	474,902
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	98,429	810,501	908,930

当連結会計年度（自 2021年1月1日 至 2021年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	射出成形用精密金型 及び 成形システム事業	精密成形品 その他事業	
売上高			
外部顧客への売上高	2,838,163	4,629,514	7,467,677
セグメント間の内部売上高又は振替高	105,196	—	105,196
計	2,943,360	4,629,514	7,572,874
セグメント利益	259,699	328,028	587,727
セグメント資産	3,009,894	4,347,541	7,357,436
その他の項目			
減価償却費	103,267	415,487	518,754
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	124,411	257,466	381,878

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	6,079,861	7,572,874
セグメント間取引消去	△167,116	△105,196
連結財務諸表の売上高	5,912,744	7,467,677

(単位：千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	289,737	587,727
セグメント間取引消去	△6,630	17,778
連結財務諸表の営業利益	283,107	605,506

(単位：千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	6,898,060	7,357,436
セグメント間取引消去	△62,931	△47,480
全社資産（注）	614,082	868,407
連結財務諸表の資産合計	7,449,210	8,178,363

（注）全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない親会社での余資運用（現金）、長期投資資金（投資有価証券）及び管理部門に係る資産等であります。

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	474,902	518,754	14,445	20,331	489,347	539,086
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	908,930	381,878	△59,783	164,307	849,147	546,186

【関連情報】

前連結会計年度（自 2020年1月1日 至 2020年12月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	中国	タイ	インドネシア	その他	合計
2,191,687	1,395,252	1,196,055	772,102	357,647	5,912,744

(注) 売上高は、販売先の所在地を基礎とし、国または地域に区分しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	中国	タイ	インドネシア	合計
1,310,107	486,165	828,646	869,652	3,494,571

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上の特定の外部顧客がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2021年1月1日 至 2021年12月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	中国	タイ	インドネシア	その他	合計
2,359,099	1,908,280	1,471,764	998,596	729,936	7,467,677

(注) 売上高は、販売先の所在地を基礎とし、国または地域に区分しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	中国	タイ	インドネシア	合計
1,412,116	563,591	765,380	886,661	3,627,750

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上の特定の外部顧客がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2020年1月1日 至 2020年12月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2021年1月1日 至 2021年12月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		全社・消去	合計
	射出成形用精密金型 及び成形システム事業	精密成形品 その他事業		
当期償却額	—	3,876	—	3,876
当期末残高	—	34,884	—	34,884

当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		全社・消去	合計
	射出成形用精密金型 及び成形システム事業	精密成形品 その他事業		
当期償却額	—	3,876	—	3,876
当期末残高	—	31,008	—	31,008

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)		当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)	
1株当たり純資産額	208円 71銭	1株当たり純資産額	275円 51銭
1株当たり当期純利益	12円 57銭	1株当たり当期純利益	63円 54銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	12円 45銭	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	63円 15銭

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
(1) 1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	99,195	505,515
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	99,195	505,515
普通株式の期中平均株式数(千株)	7,892	7,955
(2) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(千株)	76	49
(うち新株予約権(千株))	(76)	(49)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動等

1. 代表者の異動

該当事項はありません。

2. その他の役員の変動

新任取締役候補者

北林 勝博

退任予定取締役

取締役副社長 宮崎 正巳

専務取締役 山本 幸司

3. 役員の変動業務の変更

氏名	新	現
藤本 由数	常務取締役(兼)成形事業部(兼)金型事業部 (兼)管理本部担当	常務取締役(兼)成形事業部(兼)金型事業部 担当

4. 新任取締役候補者の略歴等

〔氏名〕北林 勝博

〔生年月日〕1964年6月25日

〔主な経歴〕1987年4月 当社入社

2006年2月 常州不二精机有限公司 出向

2009年1月 同社総経理

2014年7月 当社 中国事業統括

2016年11月 PT.FUJI SEIKI INDONESIA President Director

2021年4月 成形事業部事業部長(現任)